



口之津小学校 学校だより

希望の丘から

希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。

令和4年10月18日

第9号

校長 本村 英治

学校だより「希望の丘から」は、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」を表題にしました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。

6年生が修学旅行（長崎市、佐世保市）に行ってきました

10月6日（木）から7日（金）の2日間、6年生が修学旅行に行ってきました。この2年間あまり、感染症の影響で、旅行的行事は実施そのものが制限されてきました。今年度もコロナ感染症の第7波で、実施が心配されましたが、何とか目的地を県内にし、併せてバス2台にして身体的距離を確保した上で実施しました。



○大浦天主堂 → グラバー園 → 平和公園 → 原爆資料館 → 出島

1日目は、歴史学習と平和学習を目的として、長崎市内を見学しました。世界文化遺産の大浦天主堂は厳かな内部に見入っていた子どもたちでした。また、長崎原爆資料館では、一人一人が原爆の悲惨さと平和の大切さを真剣に学んでいました。市内走行中に、新幹線かもめ号が見られたこともよかったです。

宿泊のホテルでは、先生たちから口之津っ子の自覚を促されるまでもなく、マナーを守って楽しく過ごしており、ホテルの方からも「来年もぜひ来てください」との言葉をいただきました。

○ハウステンボス（環境学習） → ハウステンボス（班行動）

2日目は、長崎市から高速道路で佐世保市に移動しました。出発時は雨模様でしたが、環境学習を済ませた後は、雨も上がり、班活動（園内自由行動）に支障はありませんでした。少々時間は短かったかも知れませんが、班ごとにテーマパークを満喫していました。

旅行中、事故も無く、また具合が悪くなる子もいませんでしたので、とても先生思いの6年生でした。本物や実物にふれることは、子どもたちにとって大きな学びです。また、共同生活を送るために必要なこともしっかりと実践でき、有意義な2日間となりました。



御協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



Hello, EAT ようこそミミ先生、メイ先生

南島原市教育委員会は、小学校の英語教育の質の向上のため、市独自の予算で市内の小学校に英語指導助手（EAT）を配置しています。10月初旬に新規のEATが来日し、市内の学校の状況や英語授業の実際を理解するための研修を行っています。

17日（月）、研修校に指定された口之津小学校にミミ先生とメイ先生の2名が、来校し研修が始まりました。2人は現地（フィリピン）では、高校の先生で、指導

では高いスキルをお持ちだそうです。さっそく、英語の授業に参加したり、昼休みは、子どもたちと遊んでいました。子どもたちも優しい2人の先生が来て、嬉しそうでした。

研修は、31日まで本校で実施後、市内の小学校を巡回して授業をされます。



主な行事予定（今後）

10月17日	4年自然観察校外学習 EAT研修	21日	3年学級部会親子レク・ 親子給食
18日	代表委員会	24日	4年食育指導
19日	6年生研究授業	26日～27日	5年集団宿泊活動 (千々石少年自然の家)
20日	2年生まちたんけん 校外学習	27日	4年学級部会親子給食
		28日	1年自然観察校外学習
		29日	PTA 自転車点検

ある飲食店でのできごと

先日の休日に、近隣の飲食店で、食事をしていた時の事です。私の前方に同じく食事をしていた家族連れがいました。高学年くらいの男の子が、自分の水が入ったコップをこぼしてしまいました。隣にいたおばあちゃんらしき人が、慌てて拭いてやろうとした時、お母さんが「自分でさせてください」と言われました。また、子どもに対しても「自分でお店の人に雑巾を頼りなさい」と言われました。そして、始末できるまで見守っておられました。目の前だったので、その様子が目に入ってきたのですが、ずいぶんしっかりとされたお母さんだなと感心したところです。

私たちは、子どもたちに、社会で自立して生きていく力を付けたいと常々考えています。様々な生活経験は学びの場です。自戒も含めて書いていますが、子どもたちがせっかく学ぼうとしている機会をとっさに奪っていないでしょうか。子どもは、いずれまた同じような場面に遭遇するでしょう。いつかは正対し学ばないといけません。このお母さんは、訪れた学びの場を大切にされていたと思いました。

五島列島を舞台とした朝ドラマが話題ですが、ある回で、主人公の祖母が同じようなことを教えていたことを思い出しました。

子どもたちの学びの機会を、私たち大人は適切に見極め、与え、育てていきたいものです。

